



桜の吉野山へ 山歩きクラブ

土庫病院山歩きクラブの例会登山で吉野山を歩いた。参加者25名、平均年齢67.8歳。

長年花を求めて山歩きを続けてきた経験から言うと、あらかじめ予定を立てる行事を、桜の最盛期に合わせるのは至難の業。

ところが、今年はぴたりと当たったと思われ、当日を楽しみにしていたのだが、2日前のちょっとした雨

風で下千本と中千本はほぼ散り終えていた。そこで予定を変更して **下ヤマエンゴサク**

上千本に上り、花見矢倉展望台から吉野山の眺望を愉しんだ。最盛期ではないにしろ、そこは天下の吉野山、一行は、それぞれなりの感銘をうけて、山を下った。

山も駅も人、人、人。道路は車が数珠つなぎとなっていた。サクラ以外ではヤマエンゴサク、ミヤマカタバミ、オドリコソウ、キラソウ、シャガ、ニリンソウなどが花を見せてくれたし、中国渡来のアミガサユリが斜面を飾っていた。



下 オドリコソウ

下 上千本を愉しみつつ昼食



健康まつり と そこでの登山用具バザーに御協力下さい

5月26日（日）健生会友の会主催の第26回健康まつりが開催されます。午前10時から午後3時まで、会場はJR高田駅前（東側）と産業会館。もう高田市での年中行事の一つで毎回数千人の市民が参加します。参加協力券は前売りで300円、当日は500円。お問い合わせは友の会事務局（0745-22-2989）に。

山歩きクラブも展示とバザー

山歩きクラブも例会登山の写真と食べ物バザーで参加します。乞う御期待。

登山用具バザーに御協力下さい

この健康まつりで登山用具バザーが開かれます。冤罪（えんざい）事件の被告救援と司法の改革めざして粘り強い運動を続けている国民救援会のテントの一角で。どうぞのぞいてみてください。

なお、お持ちの登山用品（リュックやアイゼン、スパッツ、登山靴、ザイル、カラビナその他）で、使わない物が有りましたら、御提供いただければ有り難いです。御提供いただける方は松尾（0745-52-6414。携帯090-2102-2595）まで御連絡下さい。

金剛山の谷を歩く

4月下旬のある日、予定が変更になって一日空白となった。ほぼ毎日続けている二上山早朝登山から帰って、朝食をすませ、一休みして金剛山の春の花を観に出かけた。

大阪府千早赤阪村の青崩（あおげ）登山口まで単車を走らせ、石ブテ谷を左に見ながら林道をゆっくりと登り始める。沿道にはムラサキケマン、クサノオウ、ヤマブキ、スズシロソウなどが咲き、誰かが植えたのだろうユキヤナギが群れて陽光に輝いていた。林道終点から急登にかかる ヤマルリソウやキランソウが斜面にひろがり、頭上ではアケビが蕾をつけていた。

セトから西に急坂を下り、カトラ谷の入り口に着いたが、新しい林道があたりの様相を変え、さらに雪や風雨のせいなのか、谷すじの道は大いに荒れている。ミヤマキケマン、ミヤマシキミ、ハナネコノメ、ミヤマカタバミなどをカメラに収めている内に、枝谷に入り込み、小さな谷を渡り歩いて最後は藪こぎして尾根道に出、国見城跡に着いた。ニリンソウもヤマシャクヤクもまだ咲いていなかった。

ミヤマシキミ

ヤマルリソウ

ハナネコノメ

